

# 視察研修・研修会等報告書

議席番号【 14 】議員名【 中島達也 】

1 年月日	令和4年10月11日～13日 (日数 2泊3日)
2 場所	滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所
3 視察・研修事項	市町村議会議員研修 [3日間コース] 人口減少社会における議会の役割
4 面接者	講師 ・新潟大学教授 宍戸邦久氏 ・福井県大野市長 石山志保氏 ・千葉大学教授 倉坂秀史氏 ・明治大学教授 木寺 元氏

## 5 視察研修・研修会の成果

- ・事前の課題として下呂市の将来推計人口構造を把握する

	令和2年(2020)年度末(実績)		令和7年(2025)年度(推計)		令和22年(2040)年度(推計)	
総人口	31,090	人	28,915	人	23,107	人
65歳以上の人口	12,455	人	12,358	人	10,350	人
(高齢化率)	40,1%		42,7%		44,8%	
15～64歳の人口	15,412	人	13,512	人	9,936	人
(生産年齢人口率)	49,6%		46,7%		43,0%	
0～14歳の人口	3,223	人	3,045	人	2,821	人
(年少人口比率)	10,4%		10,5%		12,2%	

社会保障・人口問題研究所が提供している「下呂市未来カルテ2050」は人口予測をベースとして、現在の傾向が継続した場合に2050年に産業、保育、教育、医療、介護がどのような状況になるかについて、シミュレーションした結果を示している。

この結果、傾向を分析し政策をどう事業化することが問われている。

上記の表(2040年までの推計)から

2040年の高齢化率の推計は44,8%であるが2050年では59,3%で約6割が65歳の人口比率となります。団塊の世代のピークは終わりますが新たな医療、介護は勿論のこと、超高齢化社会における公共交通、市営住宅、生活保護にかかわるきめ細かい施策が求められます。

又、2040年の生産年齢人口比率は43,0%は2050年では34,3%と激減します。

しかし観光事業を中心に有効求人倍率が2,0に迫る下呂市では極めて深刻な問題である。

いずれはコロナ感染症も終息しインバウンドも本格的に回復すれば従業員不足で稼働率を下げなければならない旅館、ホテルも予想される。

又年少人口も激減しさらなる学校統廃合も現実的な問題である。手厚い子育て支援は勿論、移住定住Iターン、Uターンなど泥臭い営業活動が不可欠である。

余談であるが今回の研修に参加された県内、多治見市、本巣市、海津市、七宗町の11人の議員と懇親会と意見交換で有意義な時間を過ごしたが「岐阜県民の唄」岐阜は木の国、山の国……のフレーズを歌えたのは僅か二人だけ。情けない!